

開館時間 | 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、8月12日は開館)、8月13日(火)

会場 | 1階展示室、ロビー

主催|刈谷市美術館

協力|名古屋画廊

後援 | 愛知県教育委員会

刈谷市美術館

KARIYA CITY ART MUSEUM

Shin Kuho 真 Metal Works 展

野

野真

Shin Kuno Metal Works

鉄、鉛、ステンレスなど金属による絵画で知られる久野真(1921~98年)。絵具によらない独特の作品で絵画のイメージを覆し、名古屋を拠点にしながら国際的に活躍しました。

久野は、1950年代半ばに、石こうを用いた抽象絵画で注目されはじめました。 50年代末からは鉄を、60年初めには鉛を使うようになり、その大胆かつ繊細な 作品により国内外で評価されていきます。66年には奨学金を得てニューヨーク に研究滞在し、その時に出合ったステンレスと晩年まで格闘し続けました。直線 で構成された初期のステンレス作品は、不安定な構図や錯覚を利用した表現 により、不思議な緊張感や浮遊感が漂います。80年代半ばからは曲線が取り 入れられ、時の流れや詩情を帯びた豊かな世界が出現していきます。

本展では初期から晩年までの代表作をはじめ、アトリエに遺された10メートル を超える大作も紹介します。また、スケッチや制作風景の写真など資料も展示し、 ストイックに自らの表現を貫き通した久野のメタルワークスの軌跡をたどります。











- 1《鋼鉄による作品》1959年 名古屋市美術館蔵
- 2 《P.L3×6-0》1957年 刈谷市美術館蔵
- 3 《鋼鉄による作品》1982年 愛知県美術館蔵
- 4 《鋼鉄による作品 長い手紙-3》1988年 豊橋市美術博物館蔵

刈谷市美術館 KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5 TEL:0566-23-1636 FAX:0566-26-0511 http://www.city.kariya.lg.jp/museum/

交通案内 -----「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分 [電車] JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分

[車] 名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km ※駐車場あり(無料)





「アトリエでの制作風景」1975年 撮影:田中昌彦

EVENT

対談:

木本文平 (^{碧南市藤井達吉}) × 庄司達 (造形作家) 「久野真の作品世界 |

布のインスタレーションで知られる庄司さんと、久野作品の 研究を続けてきた木本さんを招き、作品の変遷と魅力を お話しいただきます。

日時 | 7月27日(土) 14:00~15:30

会場 | 美術館2階・研修室

定員 | 80名(定員になり次第、入場をお断りします) ※参加無料、申込不要

ワークショップ *要事前申込

A. 「つめたーい氷」 でかいちゃおう!

色付きの氷を使って遊びましょう。 夏にびったりのひんやり 楽しいアート体験です。

講師 | 山口百子さん(美術家)

日時 | ① 8月3日(土) 10:00~11:30 ② 8月7日(水) 10:00~11:30

対象 | 年少~年長児 定員 | 各回24名

B. 「石こう」ってなんだろう?

サラサラ?カチカチ?面白く変化するふしぎな素材・石こう を使って、ニセモノ化石をつくります。

講師 | 加藤真浩さん(彫刻家)

日時 | 8月8日(木) 10:00~12:00

対象 | 小学1~4年生 定員 | 20名

C. つながるかたち

アルミシートを使って、パズルみたいに形がつながるデコボコ絵画をつくります。

講師 | 小島雅生さん(造形作家)

日時 | 8月23日(金) 13:00~15:30

対象 | 小学3年生~中学生 定員 | 20名

【A~C共通】

会場 | 美術館2階·研修室 参加費 | 100円

申込方法 | 往復はがきの「往信用裏面」に、イベント名(Aは希望日も)・参加者氏名(ふりがな/参加希望者全員の氏名を記入)・学年(年齢)・保護者名・住所・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を記入してお申込みください。 定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。1名または1グループ1通のみ有効。

※しめきり: A·B | 7月23日(火)、C | 8月8日(木)必着

学芸員によるギャラリー・トーク

8月1日(木)·15日(木)·29日(木) 13:30~ 40分程度 ※参加無料、申込不要